

# 歩道、交差点改良などを求め県土木部長と交渉

## 主要地方道新井柿崎線の整備促進をめざす上越市議員連盟

「新井柿崎線は地域の産業や観光の発展に欠くことのできない重要路線。特段の配慮を」……主要地方道新井柿崎線の整備促進をめざす上越市議員連盟（宮崎政国会長）は10月31日、新潟県庁の県土木部長を訪れ、歩道の整備、防雪柵の設置、交差点改良などを要請しました。

同連盟の要請行動には市役所の笠原都市整備部長も同行、総勢9名が参加しました。党市議団からは連盟に加入している橋爪議員が参加しました。

今回、整備改良を求めた箇所は全部で10箇所です。その多くは歩道設置で、他は防雪柵や消融雪施設の設置、交差点改良、橋梁架け替え、振動防止対策などとなっていますが、いずれも住民の安全に関わるものばかりです。

応じた金子博県土木部長は、「県道については要望が多く、危険な場所から順次整備を進めていきたい。皆さんから、こういうことで困っているところ、どんどん訴えてもらうと私らの応援になる」と回答しました。議員連盟では、新年度県予算にどう反映するか注目しています。

新井柿崎線の整備改良を求めた箇所は以下のとおりです。

【柿崎区馬正面地内】消融雪施設整備、歩道整備。

【吉川区坪野内地内ほか】防雪柵設置。

【大潟区潟端二区地内】消融雪施設整備、歩道整備、振動防止対策。

【頸城区手島、日根津地内】交差点改良、歩道整備。【青野地内】歩道整備。

【三和区沖柳、下中地内】歩道整備。【三和区川浦、稲谷地内】歩道整備、防雪柵設置。

【清里区今曾根地内】歩道整備、橋梁架替。【板倉区高野、下長嶺地内】消融雪施設整備、歩道整備。



【ノコンギク】  
まだ頑張っ咲いています。

## 市役所の限界集落实態調査スタート 総合的な調査は県内で初めて。マスコミも注目



新上越市は多くの中山間地、過疎地帯をかかえています。市では65歳以上の高齢者が集落人口の過半数となっている集落（「限界集落」といいます）を対象に実態調査をスタートさせました。

これは限界集落に住む人たちの暮らしをどう守って

いくか、集落機能をどのようにして維持していったらいいかなどを調べて、今後の施策に活かすことが目的です。対象集落は市内842の集落のうち53。合併前の上越市が11で、あとは牧区が9、浦川原区8、吉川区7、柿崎区および安塚区6、板倉区3となっています。調査は市役所の関係課、総合事務所などが6チームを編成して総合的に行い、来月10日までに終了させる予定。

今回の調査は党市議団が提起したものです。広大な中山間地をかかえた上越市がこうした調査に乗り出したことは、先行きを心配している地域住民を励ますもので、評価できます。調査結果は新年度の市の予算編成にも反映させてほしいですね。

（写真は昨年12月、大島区旭地区にて撮影）

## 日本共産党上越市議員連盟ニュース

70 2006年11月19日

連絡先 杉本敏宏 524-3787 (東本町5)  
 樋口良子 544-6802 (中門前3)  
 橋爪法一 548-3628 (吉川区代石)  
 事務局長 上野公悦 530-2203 (頸城区中柳町)